

深層崩壊対策技術に関する基本的事項

目 次

はじめに	1
1 基本事項	
1. 1 対象とする現象	3
1. 2 対象とする現象の分類	3
1. 2. 1 深層崩壊で生じた土石等の流下機構・形態による分類	3
1. 2. 2 深層崩壊の発生要因による分類	4
2 対策の基本方針の策定	
2. 1 概論	6
2. 2 危険性のある地域の抽出	6
2. 3 災害シナリオの想定	7
2. 3. 1 地域内の危険度評価	7
2. 3. 2 被害の概略推定	7
2. 4 対策の基本方針	11
3 ハード対策	
3. 1 概論	12
3. 1. 1 基本的考え方	12
(1) 現象に応じた対策	12
(2) 計画規模の設定	12
(3) 既存計画との関係	12
(4) 既存施設の有効活用	13
(5) 大規模現象への対応	13
3. 1. 2 位置付け	13
3. 2 事前のハード対策	15
3. 2. 1 天然ダムタイプ	15
(1) 天然ダムタイプのハード対策に関する特徴	15
(2) 天然ダムタイプに対するハード対策の種類と機能	15
(3) 施設配置の考え方及び施設の効果評価	17
(4) 外力推定・施設設計の考え方	19

3. 2. 2	土石流タイプ	21
(1)	土石流タイプのハード対策に関する特徴	21
(2)	土石流タイプに対するハード対策の種類と機能	21
(3)	施設配置の考え方及び施設の効果評価	23
(4)	外力推定・施設設計の考え方	24
3. 2. 3	崩土の直撃タイプ	26
(1)	崩土の直撃タイプの特徴と対策の基本的な考え方	26
(2)	崩土の直撃タイプに対するハード対策の種類と機能	26
3. 3	長時間継続型の天然ダムに対するハード対策	27
3. 4	対策施設の維持・管理	28
4	切迫性に関する情報提供による対策	
4. 1	概要	29
4. 1. 1	基本的考え方	29
(1)	現象に応じた対策	29
(2)	監視・観測機器の設置と監視基準値の設定	29
4. 1. 2	位置付け	29
4. 2	切迫性に関する情報作成手法	30
4. 2. 1	急激な地下水位上昇による深層崩壊	30
4. 2. 2	地盤の揺れによる深層崩壊	33
4. 2. 3	重力性の変形の進行（地すべり等）による深層崩壊	33
4. 3	長時間継続型の天然ダム決壊の切迫性に関する情報作成手法	34
5	土地の危険性に関する情報（ハザードマップ）提供による対策	
5. 1	概論	36
5. 1. 1	基本的考え方	36
(1)	現象に応じた対策	36
(2)	対象規模の設定	36
5. 1. 2	位置付け	36
5. 2	土地の危険性に関する情報（ハザードマップ）作成手法	38
5. 2. 1	天然ダムタイプ	38
5. 2. 2	土石流タイプ	38
5. 2. 3	崩土の直撃タイプ	39
5. 3	長時間継続型の天然ダム災害に対する土地の危険性に関する 情報（ハザードマップ）作成手法	40